令和2年度 課の運営方針書

地域振興部　文化スポーツ課

1　課の運営方針

【課の使命】

市民主体の文化・芸術活動の活性化や郷土の特色ある歴史・文化の伝承を図り、多様な文化を認め合う、豊かで彩りのある市民文化の育成に取り組みます。
「する」「みる」「ささえる」といった様々な形で、生涯にわたりスポーツ活動に親しむことができるまちづくりを進めます。

【課の目標】

①周南緑地体育施設等整備推進事業
周南緑地をスポーツ交流等の拠点施設として維持・発展させていくため、PFIによる民間のノウハウを活用した施設の整備・改修や維持管理・運営により、財政負担の軽減及び利用者への良質なサービスの提供等を図ります。

②美術博物館企画事業助成事業
本市の魅力を高め、郷土への誇りを生み出すとともに質の高い芸術にふれる機会を提供します。

③文化・体育施設整備事業
文化・スポーツのコンベンションの拠点となる施設の、安全で快適な利用を図るため、ライフサイクルコストを踏まえた計画的な改修を行います。

④東京2020オリンピック関連事業
1年後に延期された東京2020オリンピックの機運醸成のため、聖火リレーやブルガリア共和国男子レスリングチームのオリンピック事前キャンプの実施に向けた準備や誘致活動を行います。

【働き方改革による業務改善等の取組】

限られた財源で最大限の効果が上がるよう、事業の進め方について引き続き検討するとともに、老朽化する所管施設の長寿命化を図るため、ライフサイクルコストを踏まえた適切な維持管理を行います。

2　担当（係）の使命（果たす役割）

（文化担当）
市民が参加する多様な文化芸術活動を支援・推進するための組織や人材育成に努めるとともに、回天記念館の運営を通じて、平和の尊さの発信に努めます。
（スポーツ担当）
生涯にわたりスポーツ活動に親しむことができるまちづくり実現のため、ライフステージやライフスタイル、地域の特色などに応じた多様なスポーツ活動を支援するとともに、スポーツ環境の充実やスポーツ交流人口の拡大等にも取り組みます。

3　課の経営資源

（1）課の体制

職員数	13 人	うち	正職員	9 人	・	会計年度任用職員	4 人

人件費	正職員	66,096 千円	会計年度任用職員	2,849 千円

※H30職員平均給与（　7,344　千円）ベース　　※予算計上額

（2）事業規模

歳入予算額	165,159 千円	歳出予算額	746,090 千円	（正職員人件費を除く）	担当予算事業数	26 事業

地域振興部　文化スポーツ課

４　課の中期目標（優先順）　第2次周南市まちづくり総合計画・後期基本計画に掲げられた基本施策を実現するための推進施策

目標	推進施策	実現したい成果　（最終目標）
1	２　生涯学習・人権 ３　スポーツの振興 ２　スポーツ環境の充実	バリアフリーやライフサイクルコストに配慮した計画的な施設改修等に努めるとともに、陸上競技場の整備をはじめ、周南緑地のスポーツ環境の充実に取り組みます。 スポーツ推進委員協議会等と連携して、地域におけるスポーツ活動の担い手の育成や支援を行います。 【R2目標：スポーツ施設利用者数（指定管理施設）　700,000人】
2	２　生涯学習・人権 ２　文化・芸術の振興 １　文化・芸術活動の促進	優れた文化・芸術にふれる機会の充実や、文化・芸術活動の発表機会や情報の提供等により市民主体の文化・芸術活動を支援し、豊かで彩りのある市民文化を育成します。 快適に利用できる文化拠点施設の提供や利便性の向上に努めます。 【R2目標：文化会館の年間使用率　75.0%】
3	２　生涯学習・人権 ３　スポーツの振興 １　スポーツ活動の推進	関係団体等と連携し、スポーツ活動の機会の提供や実施に努め、市民のライフステージやライフスタイルに応じた多様なスポーツ活動を支援します。
4	２　生涯学習・人権 ２　文化・芸術の振興 ３　平和学習等の推進	平和学習施設である回天記念館の運営を通じて、平和学習の機会の充実を図るとともに、平和の尊さについて発信します。 【R2目標：回天記念館年間入館者数　14,000人】
5	２　生涯学習・人権 ３　スポーツの振興 ３　スポーツ交流の推進	市体育協会等と連携し、本市の交通の利便性や充実したスポーツ施設等の優位性を生かした、大規模大会等の誘致をはじめ、トップレベルのスポーツを身近に感じることができる機会の提供やスポーツコンベンションによる交流人口の拡大と賑わいの創出、地域経済の活性化に取り組みます。